

「スマホのペアレンタル・コントロール」の設定と 「精神的自立」を合わせて見た親と子の特性

水野 一成 (株式会社N T Tドコモ モバイル社会研究所)

近藤 勢津子 (株式会社N T Tドコモ モバイル社会研究所)

小中学生が**安心、安全**にICTを活用する GIGAスクール構想の促進と課題の洗い出し

回数	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目
時期	2018年11月	2019年11月	2020年11月	2021年11月	2022年11月	2023年11月	2024年11月	2025年11月
回答数	500	1000	1100	500	600	600	1300	1200
方式	訪問留置	訪問留置	訪問留置	訪問留置	訪問留置	訪問留置	訪問留置	訪問留置
対象	関東	全国	全国	関東	関東	関東	全国	全国

調査時期	2025.11
調査方法	訪問留置調査法
調査対象	全国 小中学生の親と子
標本抽出方法	層化二段抽出 性別・学年・地域・都市規模で割付
回答数	1,200組（小中学生とその親）

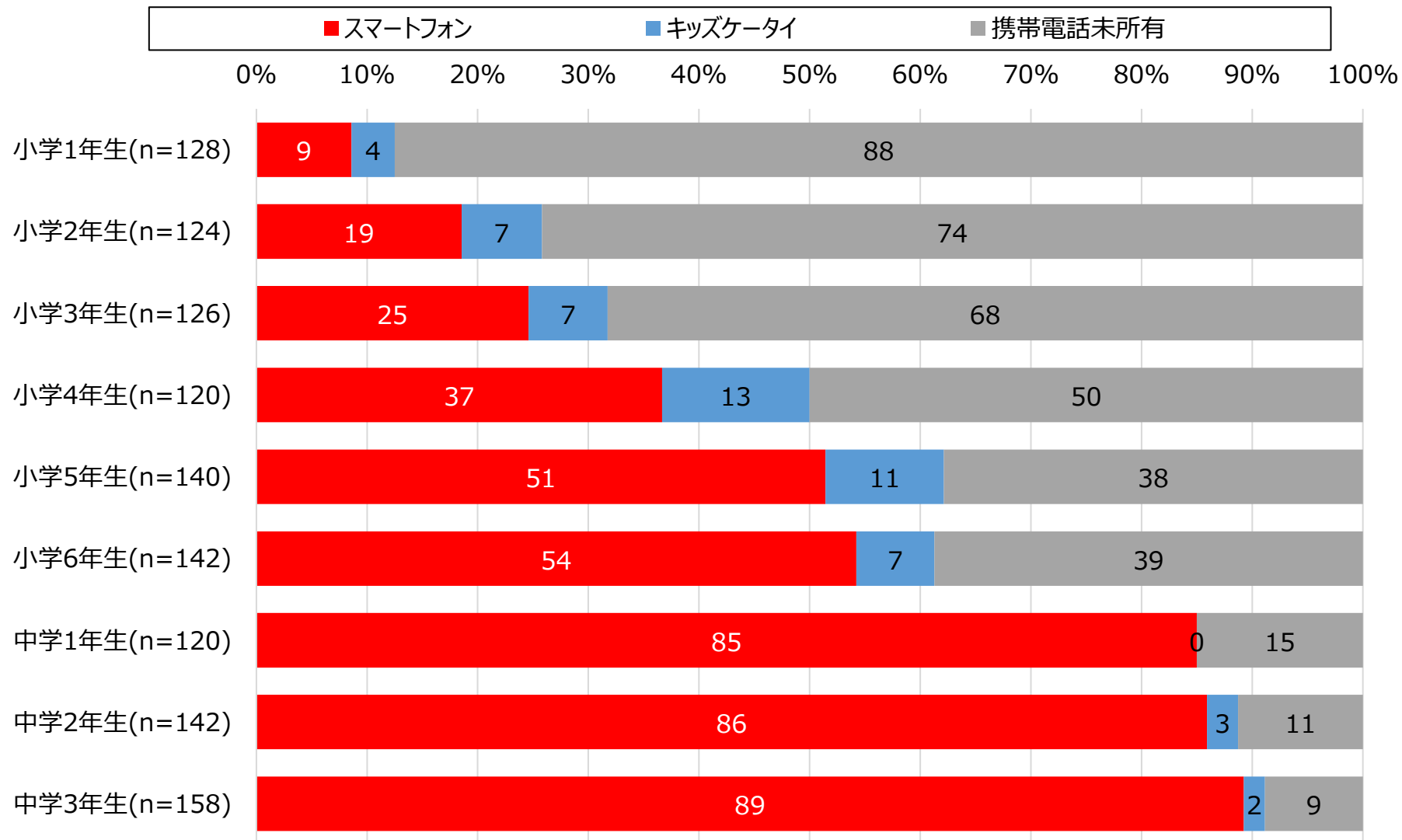
目的

「スマホのペアレンタル・コントロール」の設定の有無と「精神的自立」を高低別に親の特性を明らかにする

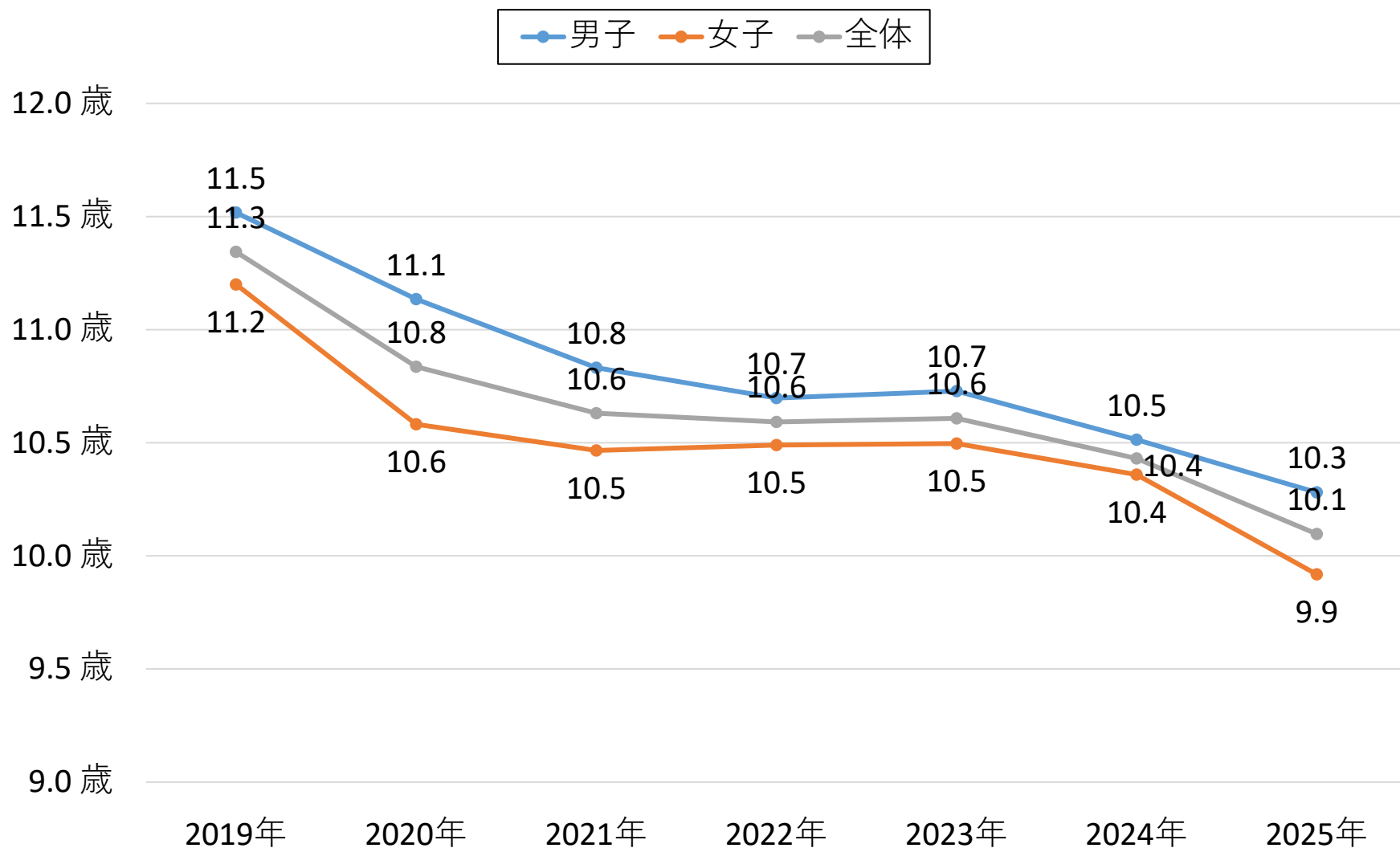
調査概要

調査時期	2025.11
調査方法	訪問留置法
調査対象	全国 小中学生
標本抽出方法	層化二段抽出法・性別・学年・地域・都市規模で割付
回答数	1200組 分析対象：スマホを持たせている575組

小学校5年生で半数 中学生になると8割を超える



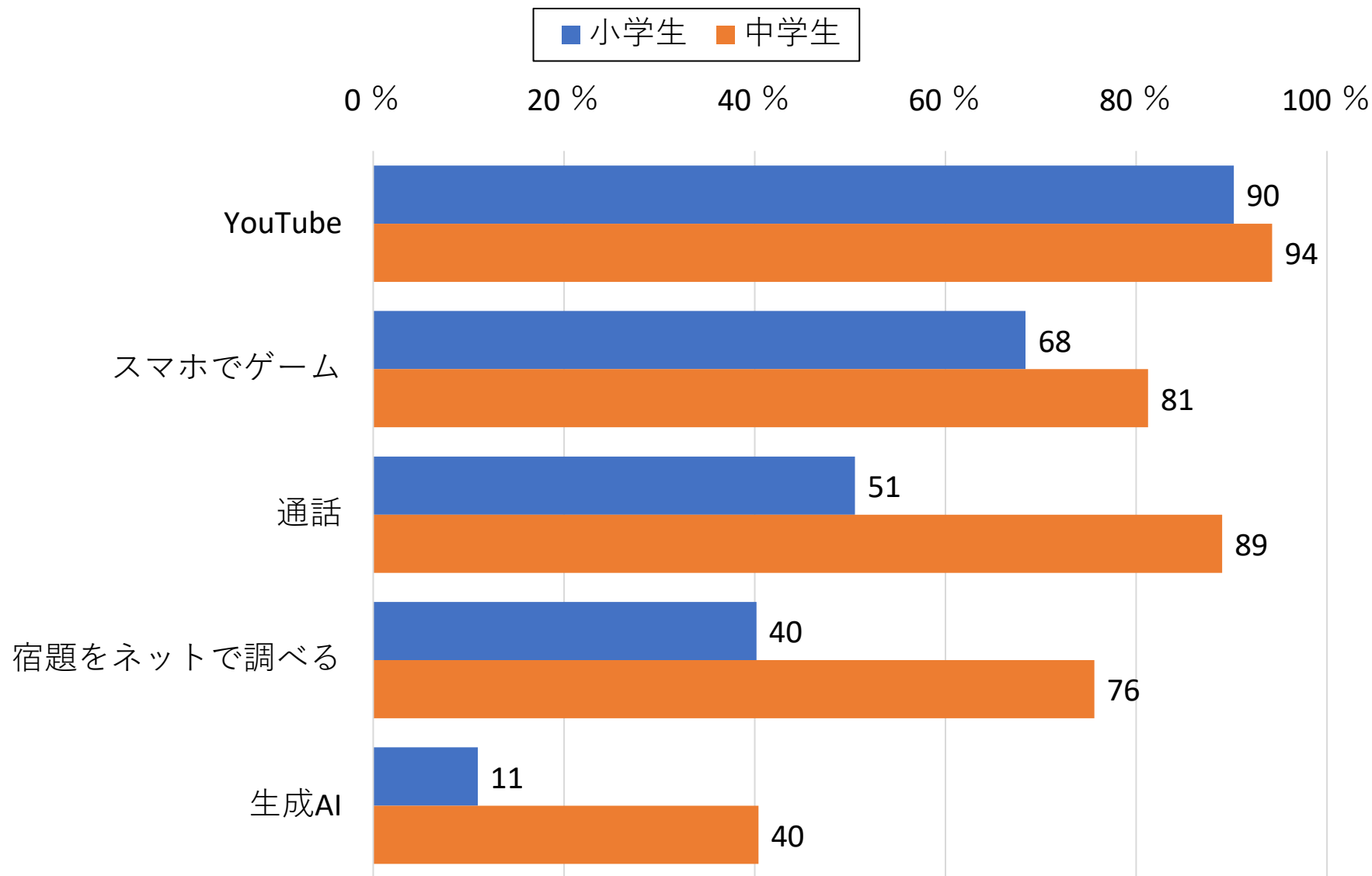
女子がやや早く持ち始める

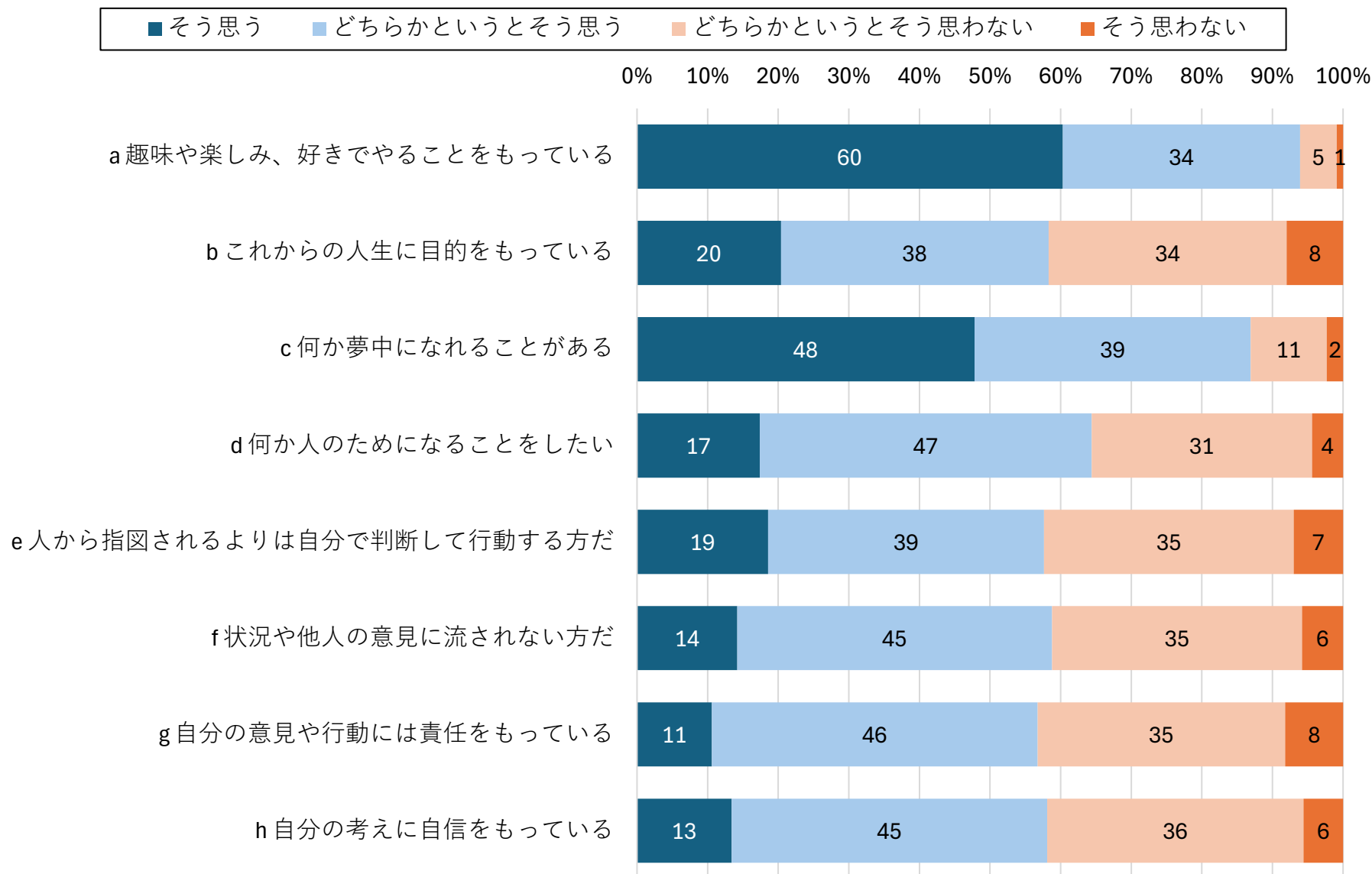


※関東地区に限る

同学年では女子の利用率が高い傾向

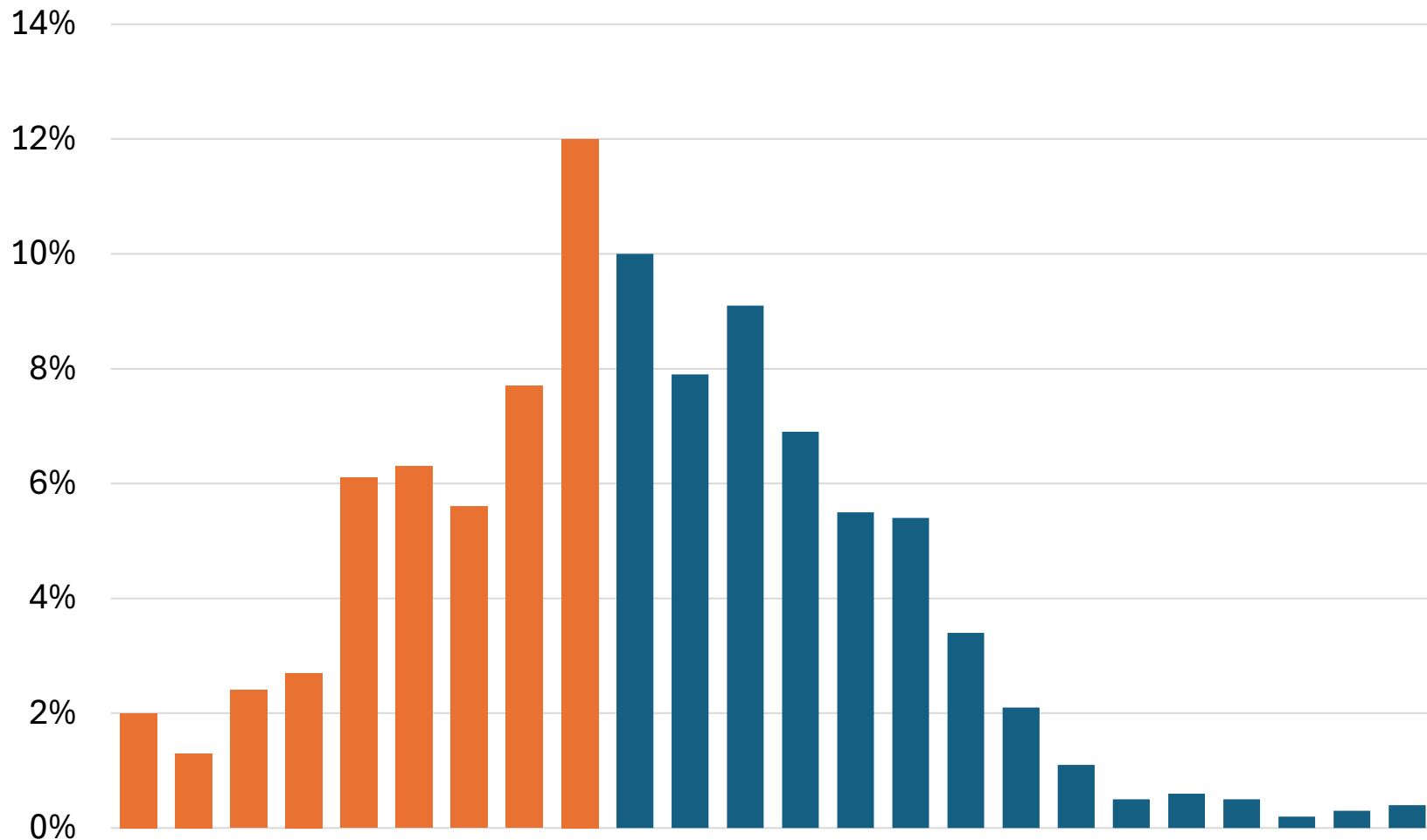
	小1～小3		小4～小6		中1～中3	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子
LINE	16	20	50	57	92	94
TikTok	9	15	22	38	50	62
Instagram	2	3	6	10	43	61
X	0	0	2	7	20	26
BeReal.	0	0	0	4	12	26
Discord	0	1	2	1	9	8
回答数	n=193	n=183	n=205	n=195	n=217	n=202





得点化： 1点 2点 3点 4点

構成比

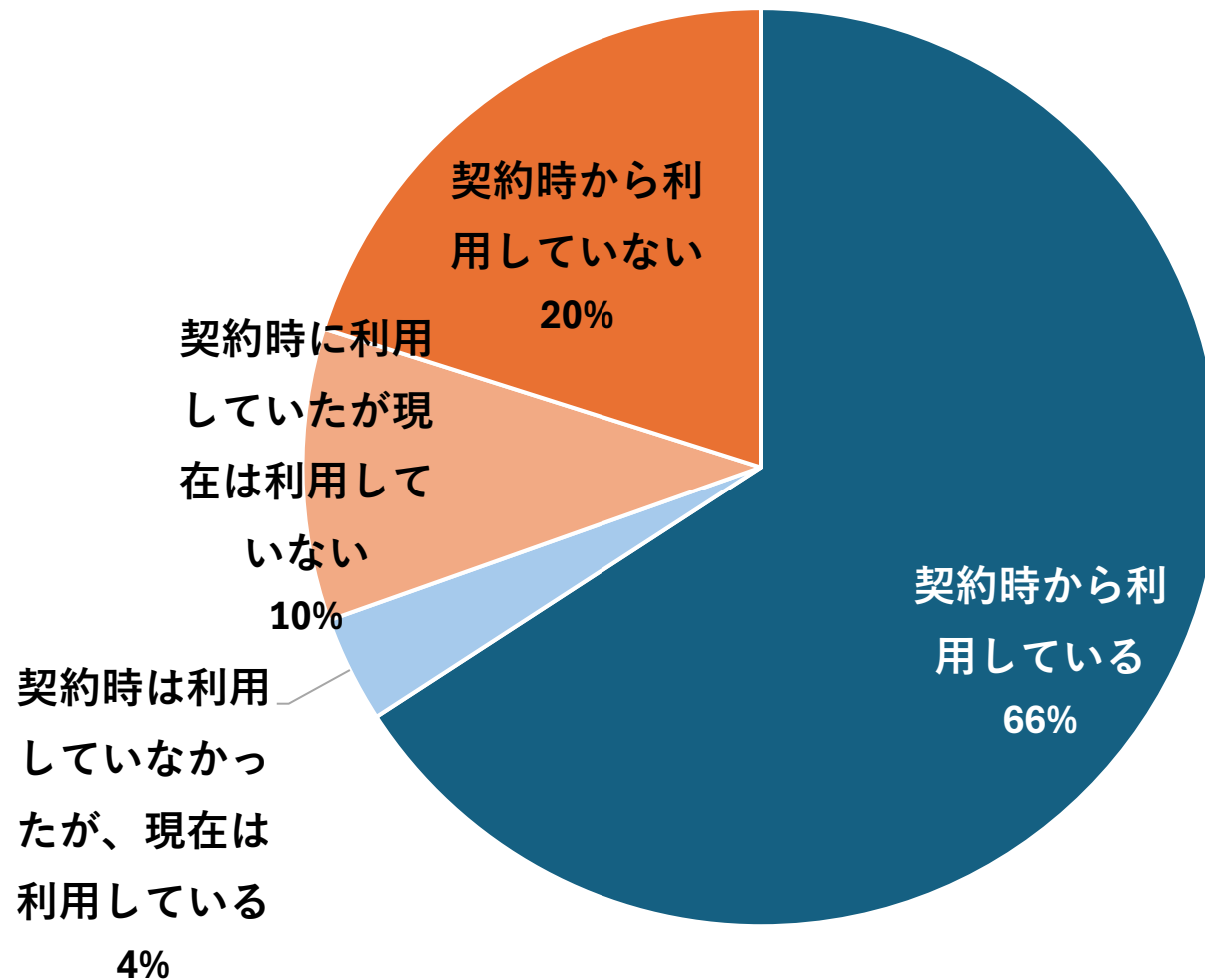


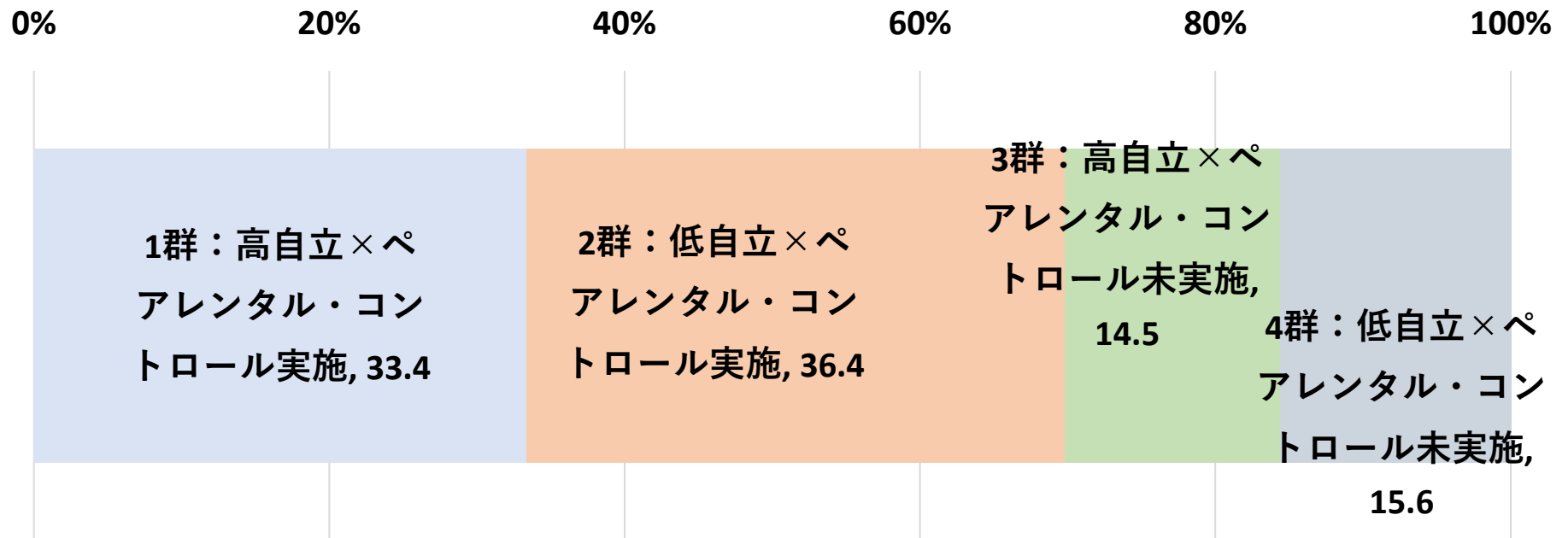
精神的自立：

高い

低い

7割がペアレンタル・コントロールを設定している





■ 親のICT関連

スマホ
利用時間

ペアレンタル・コン
トロール設定スキル

■ 親の属性

学歴

年代

働き方

■ 子の特性・親子関係

約束を守る

自己肯定感

親子会話

友だちの多さ

■ 子の属性

学齢

性別

ペアリング・コントロール未実施は中学生がやや多い

		高自立×ペア	低自立×ペア	高自立×未ペア	低自立×未ペア
全体		33%	36%	15%	16%
学年	小1～小3	49%	30%	9%	12%
	小4～小6	36%	40%	14%	10%
	中1～中3	30%	35%	16%	19%
性別	男子	34%	37%	14%	16%
	女子	33%	36%	15%	16%

上段：構成比（横100%） 下段：調整済み残差

高自立×ペアリング・コントロールを実施している親は高学歴

		高自立×ペア	低自立×ペア	高自立×未ペア	低自立×未ペア
全体		33	36	15	16
年代	30代以下	35	39	12	15
	40代前半	35	34	16	16
	40代後半	31	40	15	14
	50代以上	33	32	17	17
学歴	高卒・中卒×高卒・中卒	28	35	15	22
	専門・短大×高卒・中卒	36	33	17	14
	専門・短大×専門・短大	23	42	20	15
	大卒×大卒以外	33	42	11	14
	大卒×大卒	49	32	10	9
働き方	共働き	34	38	14	14
	片働き	31	30	18	22

上段：構成比（横100%） 下段：調整済み残差

高自立の子は友だちが多く、親のことをよく聞く

		高自立×ペア	低自立×ペア	高自立×未ペア	低自立×未ペア
全体		33	36	15	16
友人の数が多い	強くそう思う	57	12	24	7
	少しそう思う	36	34	17	14
	少し違うと思う	27	46	9	18
	全く違うと思う	12	45	12	31
親の言うことをよく聞く	強くそう思う	47	20	21	12
	少しそう思う	35	38	13	14
	少し違うと思う	22	41	15	22
	全く違うと思う	23	55	5	18

上段：構成比（横100%） 下段：調整済み残差

ペアレンタル・コントロールを実施している親は高スキル

		高自立×ペア	低自立×ペア	高自立×未ペア	低自立×未ペア
全体		33	36	15	16
自己肯定感	高い	45	32	14	10
	中間	35	35	15	15
	低い	19	43	15	23
親子会話	5時間以上	40	30	15	16
	2時間以上	31	38	17	14
	1時間以上	33	41	12	13
	1時間未満	30	32	10	28

上段：構成比（横100%） 下段：調整済み残差

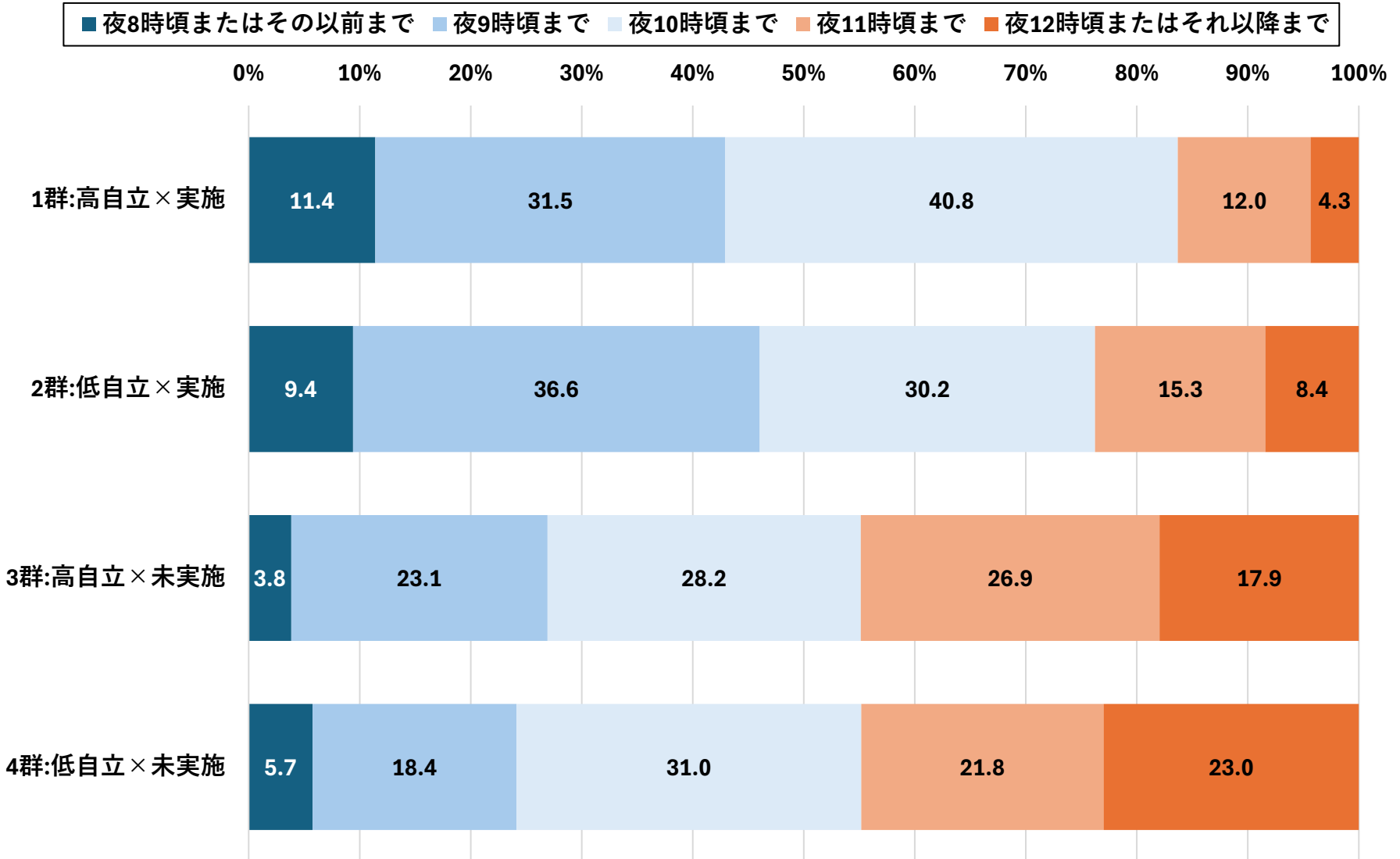
ペアレンタル・コントロールを実施している親は高スキル

		高自立×ペア	低自立×ペア	高自立×未ペア	低自立×未ペア
全体		33	36	15	16
親のICTスキル	低い	25	30	24	22
	やや低い	29	42	11	18
	やや高い	34	37	17	11
	高い	46	30	12	12
親のスマホ時間	30分・それ以下	33	49	9	9
	1時間	34	34	13	19
	2時間	35	35	17	12
	3時間	31	35	14	21
	4時間・それ以上	31	39	14	16

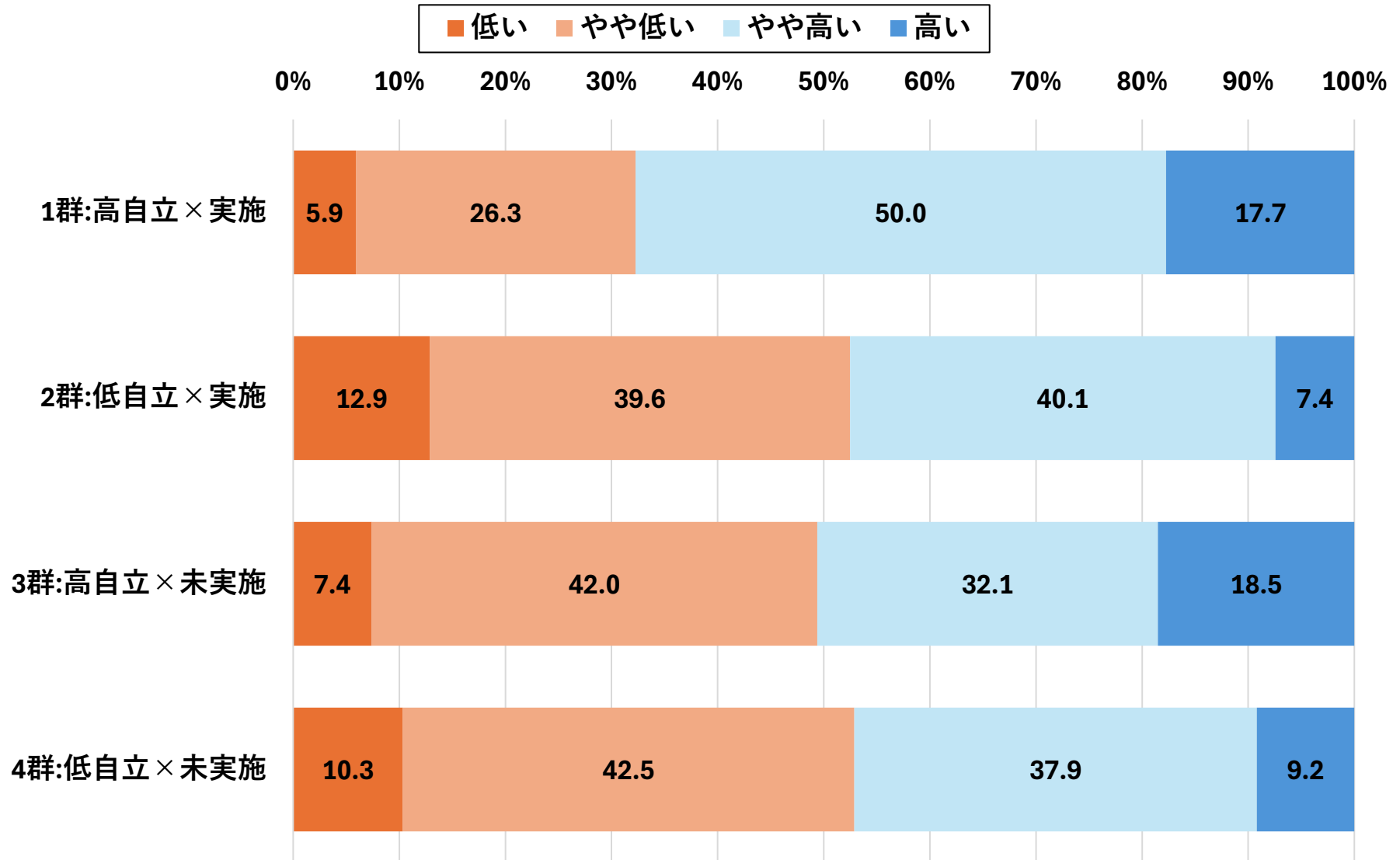
上段：構成比（横100%） 下段：調整済み残差

高自立×ペア実施	低自立×ペア実施	高自立×ペア未実施	低自立×ペア未実施
小学生低学年			中学生
高学歴			
コントロール設定スキルが高い	コントロール設定スキルが高い	コントロール設定スキルが低い	コントロール設定スキルが低い
友だち多い	友だち少ない	友だち多い	友だち少ない
親の言うことをきく	親の言うことをきかない		
高自己肯定感			低自己肯定感

ペアリング・コントロール未実施の子はインターネット終了時刻が遅い



低自立の生徒は情報活用実践力が低い



		毎日のスマホの利用時間（学習以外）	
		2時間以上	2時間未満
ペアレンタル・コントロール	設定	設定・高利用	設定・低利用
		設定スキルが高い ICT利用への期待が多方面 情報に対する不安が大きい	小学生 設定スキルが高い 親のネット利用が短い
	未設定	未設定・高利用	未設定・低利用
		中学生 設定スキルが低い 親のネット利用が長い	設定スキルが低い ICT利用への期待が低い ICT利用への不安が少ない

設定している	設定していない
<ul style="list-style-type: none"> ・子が小学生高学年 ・親がゲームを1日1回未満、ゲームをしない ・世帯収入が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・子が中学生、小学生低学年 ・親がゲームを毎日行う ・世帯収入が低い

■ 目的変数との関係が低い説明変数

子の性別、スマホの開始時期

ご清聴いただき、ありがとうございました

- ◆自由で独立した立場から、モバイルICTがもたらす「光」と「影」の両面を広く解明するために2004年に設立
- ◆モバイル・コミュニケーションの現在および将来への社会・文化的影響を研究・分析して成果を発信

【主な研究テーマ】

経年変化を把握するため2010年から毎年実施しているモバイル動向調査(基礎調査)に加え、時流に合わせた個別調査を実施

光の伸張

モバイル動向(基礎調査)

<経年変化:2010年~>

ニューノーマル

子どものICT

スマホ利用者意識調査

SNS

影の縮小

健康とICT

シニアのICT

防災・減災のICT

情報発信

【研究成果の発信】

<モバイル社会白書2024>

データで読み解くモバイル利用トレンド2024-2025

データで読み解く
モバイル利用トレンド
2024-2025
モバイル社会白書

株式会社NTTコム モバイル社会研究所

連携

(書籍・電子書籍)

<モバイル社会研究所HP>

<https://www.moba-ken.jp>



(レポート発表)

<各種学会発表>

連携

メディア掲載・データ引用・意見交換会等